

12月18日 稗方区座元宅
嫁とり祭りが開催されました

稗方区で市指定無形民俗文化財に指定されている嫁とり祭りが開催されました。仮の結婚式を行い、子孫繁栄・家内安全などを祈願する祭りです。神職が「この婚礼はネコボクの上だけ」と告げると、見物客の笑いを誘い、終了しました。



稚児役の奥村文志朗さん(菊池北小1年)と高村美穂さん(菊池北小3年)は緊張しながらも、無事に大役を務めました

12月16日 泗水東小学校
地域の人たちと生徒が門松を制作

泗水東小の児童49人が門松作り挑戦。同小学校では学校運営協議会の主催のもと、PTAや地域住民が協力し、門松作りに取り組んでいます。児童は縁起物の意味や作り方を教わりながら、世界に1つだけの門松を完成させました。



地域の人たちの協力の下、苦心しながらも立派なオリジナルミニ門松が完成しました

12月13日 第42回伝統文化ポーラ賞
御松囃子御能保存会が受賞

公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団が主催する第42回伝統文化ポーラ賞で、御松囃子御能保存会が地域賞を受賞しました。同会は南北朝以来の歴史を持つ「菊池の松囃子」(国指定重要文化財)や狂言の継承に取り組んでいます。



12月に東京で開催された贈呈式と記念展。田嶋晴雄会長は「賞をいただけたことは活動の原動力になります」と話しました

10月5日、11月17日、12月15日 伝統芸能継承事業
伝統芸能を後世に

市では地域の歴史・文化・伝統・芸能継承のため、伝統芸能継承事業を実施しています。今年度は泗水東小学校、隈府小学校、菊池北中学校の3校が参加。「狂言みのる会」の協力の下、狂言の鑑賞・体験を行いました。



狂言の足運びの一つである、すり足の体験を行う泗水東小学校の児童たち

12月19日 紺綬褒章
(株)八方建設(上赤星)が受章

(株)八方建設(前川浩志代表取締役)が紺綬褒章を受章し、伝達式が市役所で行われました。今回の受章は、同社が市立図書館に現金1千万円を寄付したことが評価されたものです。寄付金は子どもの読書活動の推進に活用しています。



前川代表取締役は「章をいただき光栄です。今回の寄付を通して市がさらに盛り上がっていくことを願っています」と話しました

12月18日 岩本菅原神社
岩本神楽連継承式が開催されました

岩本区の菅原神社で市指定無形民俗文化財に指定されている岩本神楽の第19代連継承式と150年祭が行われました。同区では100周年を迎えた昭和46年に神楽保存会を結成。地域で後継者養成や神楽奉納を行っています。



当日は雪の舞う寒い日でしたが、地元の人たちだけでなく市外からも観客が訪れ、19代目の舞を見守りました

12月15日 県援護事業功労者表彰
村上隆紀さん(堀切)が受賞

村上隆紀さんが令和4年度熊本県援護事業功労者表彰を受賞し、報告のため市役所を訪問。昭和34年から菊池郡北部遺族会青少年部の理事として活動され、地区の慰霊祭や忠魂碑の維持管理に取り組んだことが評価されました。



村上さんは「地元のために、地域のために活動してきました。これからも頑張りたい」と話しました

12月15日 JICA 青年海外協力隊員
吉田典子さん・古田恵莉さんが海外へ

吉田典子さん(富の原西)と古田恵莉さん(西郷)がJICA青年海外協力隊員として活動することが決まり、報告のため市役所を訪れました。吉田さんはボリビアで特別支援教育、古田さんはヨルダンで青少年健全育成に尽力します。



から吉田さん、江頭実市長、古田さん。2人は1月下旬から2月にかけてに派遣先へ出発。任期は2年間で

12月20日 青少年育成県民会議表彰
坂崎聡子さん(永出分)が受賞

坂崎聡子さんが熊本県青少年育成県民会議表彰を受賞し、伝達式が市役所で行われました。坂崎さんは教育委員を1期務めた他、現在は保護司としても活動。長年にわたる青少年健全育成への功績が評価されました。



坂崎さんは「これからも子どもたちの健やかな成長に関わりたく」と話しました

12月19日 花童&はつ喜定期公演
熊本ならではの踊りを披露

舞踊団「花童&はつ喜」(熊本市)の公演が旧松倉家住宅で行われました。熊本さわざやくまもと首頭、菊池川筏流し歌などに乗せて踊りを披露。当日はたくさんの人が観覧に訪れ、演者達へ多くの拍手が送られました。



3月19日(日)午後1時30分より、菊池松囃子能場で今年度最後の公演が開催されます。観覧は無料です。ぜひお越しください

12月16日 (株)アスク工業
広く市政に役立てて

(株)アスク工業(上村信敏代表取締役)から「地域住民のための施策に役立ててほしい」と寄付金の寄贈がありました。同社は菊陽町に本社を置き、土木、建築などの建設業を営んでいます。



江頭市長に寄付金を渡す上村代表取締役

12月15日 旭日双光章
黒田章さん(深川)が受章

黒田章さんが秋の叙勲で「旭日双光章」を受章し、報告のため市役所を訪れました。黒田さんは「住みよいまちづくりのために頑張ってきたことが認められてうれしい」と笑顔を見せました。



長年にわたり市身体障害者福祉協議会の会長や身体障がい者相談員を務め、支援を続けてきたことが評価されました

**1月20日 プラチナ未来人財育成塾
未来を見据え、中学生が報告会を実施**

未来のリーダーを育てる目的で昨年夏に開催された「プラチナ未来人財育成塾@二子玉川」に参加した市の代表生徒5人が生涯学習センターで報告会を行いました。著名な講師の講演を聞き、それぞれの考えを発表しました。



テーマ「未来の社会と自分について考える」の通り、生徒たちは未来の社会に自身がどう関わっていくかをスピーチしました

**1月23日 北宮阿蘇神社
消防訓練を実施**

北宮阿蘇神社で消防訓練がありました。「文化財防火デー」に合わせて行われたもので、菊池広域連合北消防署の指導の下、住民や菊池みゆきこども園の園児などが参加。火事が発生した場合を想定した模擬訓練が行われました。



消防訓練の後は救急車や消防車を見学。園児たちは笑顔を見せていました

**2月3日 菊池第2幼稚園
お相撲さんと取り組み**

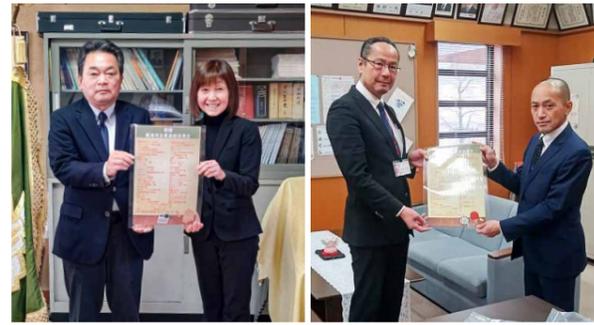
大相撲境川部屋の佐田の海関(熊本市出身)が菊池第2幼稚園の園児29人と交流。相撲の四股や股割りに挑戦した後、床にテープで描いた土俵で取り組みをしました。佐田の海関は「子どもたちに元気をもたらしました」と話しました。



園児たちとの取り組み。佐田の海関は同日開催された菊池神社の節分祭にも参加しました

**1月18日～2月6日 菊池市企業連絡協議会
地域貢献で市内小学校へ備品を寄贈**

菊池市内企業54社が集まった菊池市企業連絡協議会より、地域貢献事業の一環として、泗水小学校、泗水東小学校、泗水西小学校、旭志小学校、七城小学校へ、電子ピアノやバスケットボールかごなどが寄贈されました。



本事業は市内にある学校の発展を願って寄贈をするもので、平成29年度から毎年実施しています(㊦七城小、㊦旭志小)

**1月20日 (株)ダイナム
市との防災に関する連携協定を締結**

市と(株)ダイナムは、地震や風水害などの災害が発生した場合の施設利用協力と支援活動に関する協定を締結しました。協定により、有事の際に市民の皆さんが同社施設に避難することが可能になりました。



(株)ダイナム菊池支店の今泉善幸店長(㊦)

**1月28日 2022年度少年剣道教育奨励賞
旭志少年剣道クラブが受賞**

旭志少年剣道クラブが全日本剣道連盟の「2022年度少年剣道教育奨励賞」を受賞し、旭志中学校武道場で表彰式が行われました。宮川繁幸監督は「今後も伝統を守りながら、旭志の剣道を子どもたちに伝えていきたい」と話しました。



受賞した旭志少年剣道クラブのメンバーと関係者の皆さん

**12月22日、12月27日、1月10日 市の発展に寄与
企業版ふるさと納税を寄付**

地質コンサルタントの「八洲開発(株)」、調査・測量、土木コンサルタントの「(株)祐水コンサルタント」(本社・熊本市)、医療等衛生材料メーカーの「ハクゾウメディカル(株)」(本社・大阪市)が企業版ふるさと納税を寄付しました。企業版ふるさと納税は、企業が応援したい自治体の事業



八洲開発(株)の村田賢彦取締役兼営業部長(㊦)



(株)祐水コンサルタントの宮田忠明代表取締役(㊦)



ハクゾウメディカル(株)の一橋俊司代表取締役(㊦)

に寄付すると、寄付額の最大9割が法人関係税から控除される仕組み。本市では令和3年から受付を開始しています。寄付金は「菊池市まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づき、「文化財保護事業」、「予防接種事業」や「障がい児保育事業」などに活用します。

**1月8日 湯舟区
たこが新春の空に舞いました**

昔ながらの遊びを子どもたちに楽しんでもらおうと、湯舟区でたこ上げに挑戦しました。たこは畳6畳の大きさのものを作成。風に乗って大空に舞い上がると、参加者から歓声が上がりました。



参加者は「今年は運氣が上がりそう」と笑顔を見せていました

**12月22日 牛乳消費拡大推進運動
牛乳を飲んで酪農家を応援**

JA菊池酪農部会(森浩一郎会長)が牛乳の消費が落ち込む冬場に消費拡大を目指して、「牛乳で乾杯」運動を行いました。市内6カ所の宿泊施設で実施。森会長は「牛乳を飲んでもらうことが酪農家の力になります」と話しました。



牛乳で乾杯をする菊池ロータリークラブの皆さん

**1月16日、1月24日 宝くじ助成金事業
宝くじの助成金で無線放送システムを整備**

(一財)自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に行うコミュニティ助成整備事業(※)により、小原区と本村区に無線放送システムが整備されました。住民の安全確保やコミュニティ活動



小原区に整備された無線放送システム。水谷幸博区長は、「以前よりも放送が聞き取りやすくなりました」と話しました

の活性化が期待されます。※宝くじの受託収入を財源として、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するものです



本村区に整備された無線放送システム。外浦誠司本村区長は、「地区の連絡や行事など区民に伝わりやすくなりました」と話しました